

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-191)

提出日 年 月 日

(1) イベント名

IPv6 マルチキャストの放送素材伝送における国際連携実証

(2) イベント概要

(イベントの概要について、目的・内容・出席者・利用方法等について記入してください。)

IPv6 マルチキャストの相互接続性に関する研究開発において、国際連携による IPv6 ネットワークの普及・啓蒙を通じた実証を、放送素材の伝送を主体とし行う。国際回線を用いて、アジア諸国での利用方法、課題の抽出など、JGN2 海外拠点のある現地研究者などとともに連携し検証する。

当初は、回線帯域等制約のある環境下と、機材面を考慮して、SD 映像の IPv6 マルチキャスト伝送から始める。

具体的には、Thailand からの映像を国内に IPv6 マルチキャスト伝送し、それを国内の放送局等複数拠点で受信させ、国際回線を含めた検証とする。

また、ネットワーク的に IPv6 マルチキャストが不可能な拠点をユニキャストでバイパスし、国内の JGN2 拠点へ IPv6 マルチキャストで流すための変換ゲートウェイの実証実験も併せて行う。(例えば、国際回線上はユニキャストし、国内 JGN2 拠点へマルチキャストで配信)

実証実験は、以下の 4 団体で共同実施。

- －JGN2 中国リサーチセンター
- －JGN2 大手町リサーチセンター
- －GAORA
- －倉敷芸術科学大学
- －Asian Institute of Technology

(3) JGN2 利用の概要

既存関東 A-タイ間の vlan3855(JGNv6)を利用したタイ AP から IPv6Multicast 映像伝送

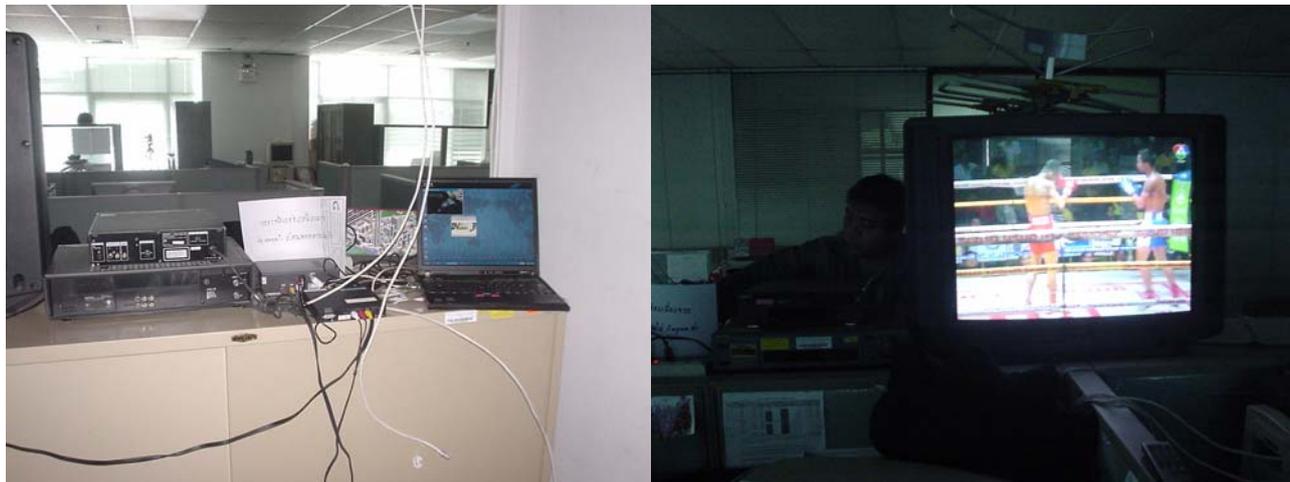
(4) イベント参加人数

- 中国 RC 2 名
- gaora 1 名
- 大手町 RC 1 名
- NECTEC 3 名
- Ch.7 2 名
- GITS 2 名

(5)実施の評価等

中国 RC で研究開発している大規模映像伝送のフェーズ 2 実証であり、本来であれば Ch.7(タイ現地放送局)より既存映像伝送技術による放送局間映像品質を持った生中継映像を同時再送信で日本国内に届ける予定であったが、現地側コーディネータの調整時間不足により、配信品質レベルの映像による再送信となった。現地からはテストを含めて IP 同時再送信を実施できたなど、最低限の実証を行うことができた。

(6)開催模様



ThaiTower に設置した再送信のための映像伝送機器